



学校だより 諏訪の森タイムス

令和 5 年 7 月 5 日
南島原市立深江小学校
校長 末吉 優

日々の暮らしの中には、嬉しいことや楽しいこと、ありがたいこともたくさんあるはずで
す。しかし、ややもすると、私たちはものごとのプラスの側面にはあまり心を向けず、マイ
ナスの感情にとらわれがちではないでしょうか。



私たちが感じるマイナスの感情は、自分自身の考え方や感じ方から生まれるもので
あり、毎日降る雨もまた、あまりプラスの感情と捉えられないようです。しかしながら、ある程度、梅雨時に
雨が降らず、梅雨時の雨量が少なかったり、日照りが続いたりすると、水源の枯渇が心配されることもあり
ます。また、私たちが住んでいる島原半島、特に雲仙岳山系は、地形の特徴から長年に渡り豊かな水を蓄
え、長い年月を経て豊かな湧き水を提供し、雲仙・島原・小浜の温泉地を構成してくれています。

近年の線状降水帯発生に伴う大雨、災害だけは避けたいところです。気がつけば、7月7日は七夕で
す。夜空に横たわる天の川を期待したいです。

教育週間「校長講話」(6月24日:馬場分校・諏訪分校、6月25日:本校)から (抜粋)

「おはようございます」と挨拶をすれば「おはようございます」、「よろしくお願いします」と言えば「よろしくお願いま
す」と返ってくる。それだけで気持ちがよくなる。人は誰でも気持ちが腹立たしくなったり、落ち込んだりする。周りの人に
言えず、一人で悩む人もいる。気持ちが元気でないと、気持ちが安定せず、自分もっている力を発揮できない。知ら
ず知らずのうちに、人のせいにしたがる。反対に、気持ちが安定していると、力を発揮しやすく、スポーツや勉強の結果
が出しやすい。

ところで、大きな災害や交通事故などに遭ったらどうか。当たり前で生活していることがどれほど幸せなことか、初め
て気が付く。そして、「命」について改めて考える。腰塚勇人さんはスキーで転倒し、首の骨を折った。奇跡的に命を
取り止めたが、下半身と右半身が麻痺し寝たきりとなり、生きる希望を失った。

しかし、障害を抱えながらも、4ヶ月で現場に復帰した。そうなれたのは、自分の考え方・受け取り方を変えた
だけだったそうだ。生かされた命を自分のために人のために使いたい。命の尊さ、仲間の大切さ、生きること
の素晴らしさを伝えたい。自分を支えてくれた人たちに感謝しようと思い、学校に復帰するとき、「5つの誓い」
を決めた。【()内は、末吉自身が付け加えた内容】

- 1、「口」は……(悪口を言うためのものではなく、)人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。
- 2、「耳」は……(都合の良いことだけ聞くのではなく、)人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
- 3、「目」は……人のよいところを見るために使おう。(人の悪い部分を見付けるためのものではない)
- 4、「手足」は……人を助けるために使おう。(人を叩いたり、けったりするために使うものではない)
- 5、「心」は……人の心の痛みがわかるために使おう。

(心の痛みが分かると、友達も大切に、何よりも自分を大切にできる。)

この教育週間だけでなく、常に考えてほしい。そして、口、耳、目、手足、心をどのように使うか、つまり
行動に表すか、自分でできることから取り組み、当たり前のこととして、よき習慣につなげてほしい。



授業参観、学級部会から

4月に続き、子供たちの授業の様子を見ていただきました。4月と比べ、子供たちはどのように成長をしているように感じられたでしょうか。

今回は、「深江っ子の心を見つめる教育週間」として、「命」等をテーマにした道徳の授業や「SNSノート・ながさき」を活用した情報モラル授業を実施しました。真剣に取り組む子供たちの様子を感じた次第です。

学級部会では、学級部長さんを始め、役員のみなさんで進めていただきました。夏休みを迎えるに当たり学級担任からのお願いもあったことと思います。話し合いをしたり、実際の学級PTA活動を行ったりすることで、お互いのことを理解し合っていけるとと思います。また、子供と関わる大人の幸せへとつながることでしょう。



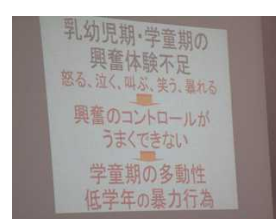
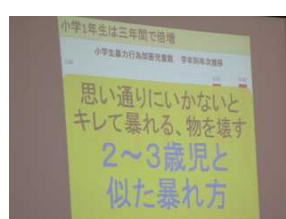
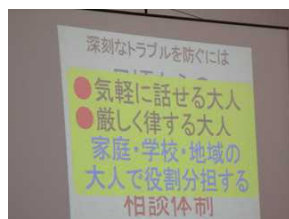
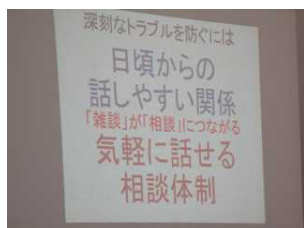
PTA生活指導部(メディア講習会)

長崎県メディア安全指導員の 中村恵子 様 を講師としてお招きし、「深江小学校PTAメディア講習会」を開催しましたところ、約60名程の参加がありました。

講話の内容を大きくまとめますと、メディアが子供の心身の成長・発達に及ぼす影響、子供のネットトラブル、ネット依存・ゲーム障害等について話をされました。参加者のみなさんは、自分事として熱心に聞かれ、約60分間の講話の後、個人的に質問をされる保護者もいらっしゃいました。親として何ができるか、具体的な対応策を尋ねられたと伺っています。

また、アンケートの記入をしていただいております。それらの一部を紹介します。「ゲームやメディア使用が気になる場所があった。」「子供は一人でやめられない。」「早速家族で話してみたい。」「子供と話し合って、ゲームやメディアの使い方を一緒に考えていこうと思う。」「LINEに集合写真を載せることが気になる。」などです。

スマホ等は今の情報化社会には欠かせない存在だと考えます。ですから、正しい使い方、安全な使い方について私たちは学んでいく必要がありますね。



内科検診・歯科検診が終わりました。

内科検診(校医:城野 健児 様)、歯科検診(歯科校医:泉 卓歩 様)が終わりました。内科検診については、心臓の音や肺の呼吸の音を聞いて、体の中が健康か、栄養がしっかりととれているか、皮膚の病気や貧血がないか、背骨が曲がっていないか等を調べてもらいました。また、歯科検診については、虫歯だけでなく、歯ぐきの状況、歯周病やあご関節症などをまとめて検査していただきました。それぞれ、必要な治療等については、御家庭へのお知らせ文書をお渡ししておりますので、御対応の程よろしく申し上げます。

虫歯等の治療につきましては、昨年度約70%の治療率でした。少しでも早く、治療していただきたいと思っております。